

## [01\_02]九州大学情報基盤センター広報 : 学内共同 利用版表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1470489>

---

出版情報 : 九州大学情報基盤センター広報 : 学内共同利用版. 1 (2), 2001-10. 九州大学情報基盤センター  
バージョン :  
権利関係 :

## ソフトウェアアーカイブ用ファイルサーバシステムについて

岡村耕二<sup>†</sup>

2001年12月1日から九州大学ギガビット級ネットワーク(以下、次期KITEと記す。)が稼働を開始します。これによって、キャンパス内の通信速度は従来よりも飛躍的に向上するため、従来ではできなかったサービスが可能となります。このようなサービスの一つとして情報基盤センターではソフトウェアアーカイブ用ファイルサーバシステムを導入し、学内に豊富で最新のソフトウェアアーカイブを提供することを目指します。ソフトウェアアーカイブ用ファイルサーバシステムの主な仕様は表1の通りです。ファイルサーバはLinuxの載った高性能なPCですが、ディスク装置は富士通製のNR1000FモデルF320という高速なディスクアクセスを提供するRAID5機能と自身でNFSの機能をもったインテリジェントタイプのディスク装置です。

表1: ソフトウェアアーカイブ用ファイルサーバシステムの仕様

ファイルサーバ	
CPU	PentiumIII Xeon 700MHz プロセッサ × 4
メインメモリ	4GB
ディスク装置	
容量	720GB
NFS 性能値	11,000 ops (Operations 毎秒)

ソフトウェアアーカイブとしてはRingプロジェクト(<http://www.ring.gr.jp>)からコンテンツをミラーしています。2001年9月16日現在のコンテンツのトップディレクトリは、FreeBSD, FreeBSD-PC98, GNU, NetBSD, X, XFree86, doc, graphics, lang, linux, mac, misc, net, pc, pgp, textで、ファイルの総容量は244GB程度となっています。トップディレクトリを見てわかるようにRingプロジェクトにはメジャーなソフトウェアがほとんど網羅されていますので、このファイルサーバさえあれば大概のものは揃えることが可能です。また、Ringサーバのコアサーバとは1日1回同期させているのでコンテンツも新しいものばかりです。なお、ディスク装置の容量は仕様では720GBとなっていました。RAID5でファイルシステムを構成すると451GBになってしまったため、現在すでに51%使用済となっています。

このソフトウェアアーカイブ用ファイルサーバシステムを学内から利用する方法ですが、従来のftpアクセスに加えて、せつかくのギガビット級ネットワークの利点を活かして部局から直接NFSマウントを許可することなどを検討しています。現在、2001年12月1日の次期KITEの運用開始に合わせてサーバの設定、チューニングを行なっているところであり、正式なURLも次期KITEの運用開始と同時にアナウンスされる予定です。

<sup>†</sup>九州大学情報基盤センター  
Email: oka@cc.kyushu-u.ac.jp